

**語彙の豊かさに基づく
フランス語学習者のグループ分けの試み
—フランス語学習者話し言葉コーパスを基盤として—**

**杉山香織
(東京外国語大学大学院博士後期課程)**

コーパスの登場により、言語分析の可能性が大きく広がり、母語話者言語研究のみならず、学習者言語の分析についても、コーパスの利用は急速に普及している。実際、英語教育の分野では、書き言葉だけでなく話し言葉の諸側面も学習者コーパスを使用して明らかにしようという試みが広がっている。しかし、英語以外の言語を見てみると、コーパスに基づいた学習者言語の研究は少ないのが現状である。さらには、学習者コーパスを使用した日本人フランス語学習者の話し言葉に関する研究は皆無である。

本研究は、日本人フランス語学習者を対象に構築された話し言葉コーパスを利用し、「語彙の豊かさ」という観点から学習者間に見られる使用語彙の共通性・独自性を考察することを目的とする。そこで、語彙の多様性、素養、密度から成る「語彙の豊かさ」という指標が有効であるのかを検討するとともに、学習者を分類できる共通因子を探る。